

2019年2月26日

報道関係各位

公益財団法人大阪観光局

### 《大阪観光局と加賀市との包括連携協定締結について》

公益財団法人大阪観光局（理事長 溝畑 宏）と石川県加賀市（市長 宮元 陸）は、下記の通り、観光を中心とする人口交流・文化交流など幅広い連携を通じ双方の地域活性化に繋がる包括連携協定を2019年2月26日（火）に締結いたします。

大阪では2017年訪日外国人が1,110万人を越え、今後更なる増加が見込まれ、IR・大阪万博を見据えた新たな取組み拡大を図る中、府内、関西エリアのコンテンツ開発と同時にテーマ型広域周遊ルートの開発にも着手し、大阪が多種多様な体験を提供できるショーケースとしての役割を担ってまいります。

加賀市は、かつて海路で北からの食産物を大阪へ運び、大阪の食文化に大きく影響を与えた北前船の船主が住み、物流・人流の面において重要な役割を果たすなど、大阪とはかねてより深い関わりがありました。

更に、北陸地域の最大かつ良質な加賀温泉郷（山代・山中・片山津）を有し、九谷焼・山中漆器など歴史的価値の高い文化財もごございます。また、加賀エリアのみならず福井県北部の名刹、ジオパークなどへのアクセスも可能な地域観光のハブ（基軸）として重要な場所でもあります。今後は北陸新幹線の延伸により更なるアクセス向上も期待できます。

両者は国内外への情報発信、地域開発、文化的人的交流を通じ、地域活性化に寄与する取組みを図ってまいります

#### 1. 包括連携協定の目的

大阪観光局と加賀市は観光を中心とする人口交流・文化交流など幅広い連携を通じ、双方の地域活性化と地域経済への波及効果を目的とする。

#### 2. 包括連携協定の概要

- ① 観光客誘致、双方向流動に関する調査・分析・研究に関すること
- ② 両地区でのコンテンツ開発・誘客に関すること
- ③ 国内外への情報発信、認知向上、集客プロモーションに関すること
- ④ その他、観光促進に関すること

以上